

## 学校評価委員会開催議事録

日時 2023年5月9日(火) 10:30～11:30

新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 2階 会議室

参加者 片山先生 浅野副校長 勝田科長 大西主任 長井事務長

作成者 長井

書面 山崎様 牛様 (事前に自己評価をお送りし書面にてご意見を頂いた。)

法人運営について 長井事務長

新校舎での学校生活も早いもので1年経過し、皆様のご協力により大きな問題も無く終えることができた。

国家試験においては、両科ともに全員受験全員合格することが出来た。

学生募集に関しては、歯科衛生士科は、例年通り定員に達することが出来た。

歯科技工士科は、昨年度より4名の落込みをみせてしまった。

今期は、学生募集にさらに力を入れる為、営業を1名採用した。

教育目標 今年度重点目標発表 (別紙資料にて)

歯科衛生士科 大西主任

反省

〈国家試験合格100パーセントの維持〉

100%は維持しているが、国家試験前の成績不良者の人数が例年一定数いる。

また、卒業確定後に成績が低下した学生がおり、早期抽出が出来なかった。

〈入学者の定員充足と退学者・休学者ゼロの実現〉

定員には達しているが、今後、当校のアドミッションポリシーに則った入学志願者がさらに増えるよう、努力が必要だと考える。

休学・退学者が例年よりも多かった。

〈多職種連携を意識したカリキュラムの構築〉

コロナ渦が影響し、浅い実習に留まるケースが多かった。

〈非常時における講義、実習内容の強化〉

インターネット授業の際に自宅で実習を行う事が難しかったため、カリキュラムの変更を行い、前倒しで講義を行い、実習は対面授業になってから行った。今後は自宅での実習が充実するよう対策が必要と考える。

## 今期の教育目標

### 1 国家試験合格100パーセントの維持

- ・早期より国家試験対策に入り、成績不良者を抽出する。
- ・点数だけでなく、学生の性質、環境、体調も考慮し、取りこぼしの無いよう、補講者の決定をする。
- ・例年1名ほど、卒業決定後に成績の下がる学生が出るので、グループ指導の際に抽出できるよう教員間の確認を行う。

### 2 入学者の定員充足と退学者・休学者ゼロの実現

- ・他職種とは異なる明確な魅力を提示する。
- ・当校の教育理念に沿った教育により輩出した卒業生の例を挙げ、具体的に将来像をイメージさせる事で、志の高い入学者を獲得する。
- ・SNSで学生の普段の様子を発信し、充実した学校生活が想像出来るようにする。
- ・学年ごとに出やすい不安を理解し、学生の心のケアを怠らないようにする。全教員の目で学生の様子を観察し、小さな変化を見逃さないよう努める。

### 3 多職種連携を意識したカリキュラムの構築

- ・歯科技工士科との合同講義、実習の機会を増やし、係わり方の深度を増す。お互いの理解を深める事で、多職種連携で仕事をする際の心構えを持たせる。
- ・関係施設、協力施設との連携を深め、実習内容を充実させる。

### 4 教職員のレベルアップ及び学生の知識・技術の平均化

例年、国家試験前になると成績不良者の個別対応を行うが、今後できるだけその人数を減らし能力の平均化を進めたいと考える。

今年度は、1学年時より主要三科の授業の際の小テストを増やし低学年からの知識の定着を図る。

また、国試直前に成績が低下しそうな学生を早い段階で抽出できるよう、グループ指導の際に意識して指導する。

歯科技工士科 勝田科長

反省

〈国家試験合格100パーセントの維持〉

全員合格することができた。

今年度は、国家試験対策を早期に行うため、進級後に実力テストを実施し、得点下層者を対象に継続して補習を進めたことが結果につながったと思う。2年間の就学期間であるため、早い取り組みを継続し、個性を見極めると共に成績向上に努める。

〈入学者の定員充足と退学者・休学者ゼロの実現〉

二学年は他業種への進路変更の為、受験前に退学をする学生がいた。資格の取得や将来性を勧めながら三者面談を行ってきたが、意思は変わらず退学となった。

〈多職種連携を意識したカリキュラムの構築〉

歯科衛生士科との合同授業を通して、相互にコミュニケーションを図り、積極性、協力が身につくよう授業に務めた。

歯科技工士科の学生から歯科衛生士科の学生に教える授業も例年継続して行っている。

〈非常時における講義、実習内容の強化〉

可能な限り対面での授業を行ってきた。感染者増加時期や長期休暇はオンラインでの授業対策を行うようにした。国家試験前では受験者への感染リスク低減のため、前年度と同様に他学年は遠隔授業で対策を行った。

今期の教育目標

1 国家試験合格100パーセントの維持

(1) 教育・指導の質の向上

指導内容の反復や確認を行いながら、学生の理解や状況判断ができるよう指導の強化を早期に行う。

(2) 国家試験・進路指導の充実

早期計画の取り組みの継続、改善を行い、計画的に進める。  
進路先情報の収集、蓄積をし、情報を与えられるよう努める。  
模擬試験学校順位を上位にする。

2 入学者の定員充足と退学者・休学者ゼロの実現

(1) 「報告・連絡・相談」の徹底

(2) 遅刻・欠席者の減少対策

(3) 学生募集での職業の将来性、成功・現況例の情報伝達

3 多職種連携を意識したカリキュラムの構築

(1) 関係施設・協力施設の連携強化

卒業生を講師として授業や卒業情報の提供や実技の強化を行い、学生への目標意識をはっきりさせる。

授業内、実習空き時間の利用や目標、計画を考え行動させる取り組み。

4 教職員のレベルアップ及び学生の知識・技術の平均化

常に情報の取得、現状改善を念頭に知識・技術の共有と確認をする。個別指導を各学生の状況に合わせて知識・技術の平均化を早期対応する。

片山先生

国家試験合格100%を続けているのは、とても素晴らしいこと。

毎年、学生の意識が上がってきている。特に今年の一年生は、活気がありレポート用紙の書き方もよく自発的な学生が多い印象。

昨年度、退学者が多かったことは非常に残念。教職員会議でも議論されているようなので引き続き学生のフォローをお願いしたい。1年次中間試験の科目数が多く、そこで挫折する学生もいると思うので科目数を分散させる等の検討をしてみてもいいでしょうか。

山崎様

(書面より抜粋)

・コロナ禍の対応について長期休暇明けなどの授業体制がリモートか対面かの判断が遅く困ることがあった。

→今後も有事の際は、スピード感をもって状況に即した対応を心掛けていく。

・施設内は、清潔で掃除を徹底して行っている。

・歯科衛生士科

先生の実習の指導方法に違いがある。最初は、先生がVTR等で統一した指導をお願いしたい。

→引き続き指導方針を確認し実行していく。

礼儀に関しては、しっかりと教育されている。

・歯科技工士科

生徒の先生への言葉遣いや態度があまり良くない。先生方もしっかりと注意して欲しい。

→両科統一した指導教育を行っていく。

・その他

トイレの数が足りない為、時間をずらす等の対応をお願いしたい。

→授業時間の中で対応するようにしていく。

このようなアンケートを全員対象に実施して欲しい。

→貴重なご意見なので今後積極的に検討していきたい。

牛様

(書面より抜粋)

・学校がキレイになり、設備も新しく、学生にとってとても良い学習環境だと思う。

以上